



能 逆

さかほこ

矛

河村 栄重

かつて国創りの際に使用した天之逆矛。
現在は瀧祭ノ神が預かり、
宝山に納められているという。



平成25年9月1日(日) 1時開演

9月のたにまぢ能

能 藤

ふしど

戸

山本 章弘

藤戸の合戦で無実の漁師を殺めてしまう盛綱。
過ちを責められ遂には非を認めるが・・・

● 狂言 口真似

くらまね

小笠原 匡

● 仕舞 道明寺

どうめいじ

山本 順之

● 仕舞 松虫

まつむし

高橋 京子

● 仕舞 柏崎

かしわさき

波多野 晋
殺生石 林本 大

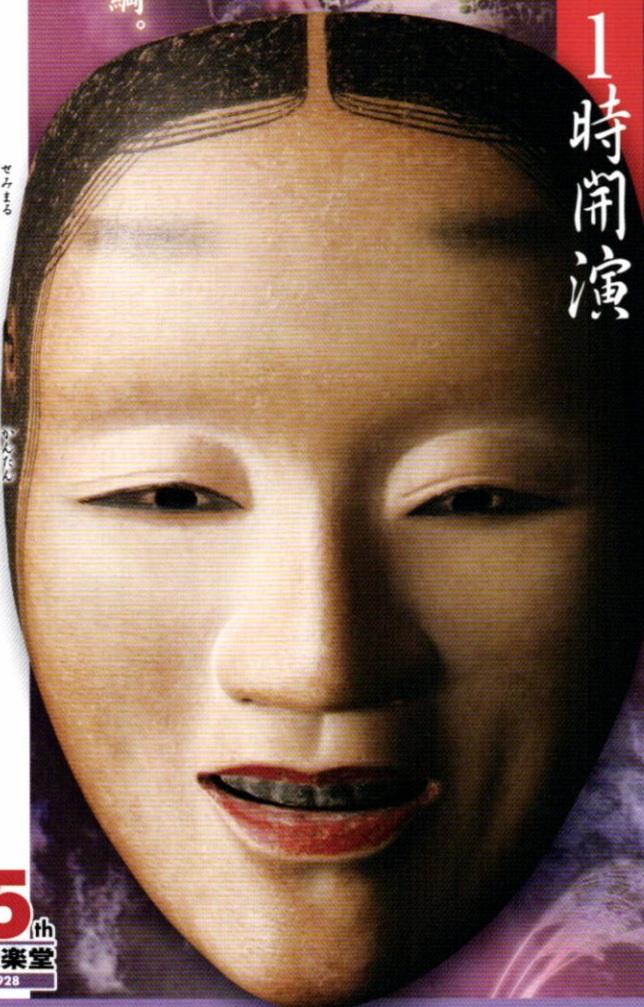
● 仕舞 蝉丸

せみまる

● 仕舞 邯鄲

かんたん

山下 麻乃



主催 / 公益財団法人 山本能楽堂

■ 後援 / 大阪府・大阪市・公益財団法人 関西・大阪21世紀協会
■ 助成 / 平成25年度 トップレベルの舞台芸術創造事業



<http://www.noh-theater.com/>

入場券 ● 一般券 5,500円 ● 学生券 3,000円 綴り割引券(3回分) ● 一般券 15,000円 電子チケットぴあ pia.jp/t (Pコード 424-145) 0570-02-9999
お問い合わせ 山本能楽堂 / Tel. 06-6943-9454 Fax. 06-6942-5744 公式ホームページ <http://noh-theater.com/> e-mail info@noh-theater.com

※山本能楽堂は平成18年12月に国登録文化財に指定されました。

午後1時始

仕舞 **「松虫」** 高橋 京子

「蟬丸」 朝原 広基

「邯鄲」 山下 麻乃

地謡 山本 章弘 森本 哲郎
今村 宮子 吉山 有

能 **「逆矛」**



河村 栄重

●あらすじ

臣下たち(ワキ)が龍田明神に参詣すると、宵闇があたりを包み、神の枝を肩にした老人(前シテ)が、若者(前ツレ)に松明をかかげさせてやってくる。老人は神事に携わるかたわら、農耕を営むものだという。臣下は宝山に道しるべするよう頼む。老人は幸い夜祭に参るからと言って社頭に案内し、イザナギ・イザナミが混沌の海をかき混ぜて国創りを行った逆矛を瀧祭ノ神が預かり、現在はこの宝山に納められていると語り、姿を消す。(中入)

臣下が神前に通夜をしていると、龍田姫(後ツレ)が現れて舞の袖を返し、やがて矛を携えた瀧祭ノ神(後シテ)が姿を現して、手にした矛で淡路島から始まる国土創世の昔を再現し、矛を宝山に納めた故実を再現するのだった。

現在は観世流でのみ演じられている曲です。天逆矛は、能が作られた中世には神仏習合の結果、密教の法具である独鈷ともされて、日本の中心たる「天の御柱」でもあるといい、非常に神秘的なシンボルとして認識されていました。後ツレの天女は龍田姫ですが、謡本文にあります通り、瀧祭ノ神とは同体異名とされています。

前シテ(尉) 河村 栄重
後シテ(瀧祭ノ神) 今村 一夫
前ツレ(宮人) 山本 麗晃
後ツレ(龍田姫) 山本 麗晃
ワキ(朝臣) 福王 知登
ワキツレ(從臣) 中村 宜成
ワキツレ(〃) 喜多 雅人
アイ(龍田山麓ノ者) 泉 愼也

笛 赤井 啓三
小鼓 荒木 建作
大鼓 大村 滋二
太鼓 井上 敬介

後見 松浦信一郎
前田 和子
地謡 波多野 晋
山本 博通
今村 宮子
森本 哲郎
林本 大
高橋 京子
山下 麻乃
朝原 広基

狂言 **「口真似」**

シテ(太郎冠者) 小笠原 匡
アド(主) 泉 愼也
小アド(何某) 山本 豪一

後見 谷口 尚功

●あらすじ

主人は酒をもらったので、誰か酒の相手をしてくれる人を連れてくるように太郎冠者に命じます。太郎冠者は顔見知りの人を訪ね、主人とは付き合いがけないにも関わらず無理に連れて行きます。主人が客を見ると酒乱で有名な人なので、無理に連れてきた手前穏やかに帰そうと考え、太郎冠者に自分の言う通りに行動するよう命じます。

仕舞 **「道明寺」** 山本 順之

「柏崎」 波多野 晋

「殺生石」 林本 大

地謡 松浦信一郎 今村 一夫
森本 哲郎 前田 和子

休憩10分

能 **「藤戸」**



山本 章弘

●あらすじ

藤戸の合戦での先陣の功によりその土地を賜った佐々木盛綱(ワキ)は国入りすると、まず訴訟のある者は申し出るように触れを出した。すると一人の老婆(前シテ)が現れ、我が子が盛綱に殺された恨みを述べる。盛綱は一度は否定するが、老婆の激しい追求によって告白する。藤戸の合戦の際、盛綱は土地の漁師に渡ることで浅瀬を聞き出したが、他の者に濡らされるのを恐れ、その漁師を殺したのだ。老婆は悲しみを新たにし、自分も殺して欲しいと詰め寄る。盛綱は非を認め、老婆を自宅まで送らせた。(中入)

盛綱は漁師を弔う法要を行い自らも誂経すると、漁師の亡霊(後シテ)が現れ、盛綱は恩賞を賜り、その元になった自分は殺された理不尽を責める。そして殺された時の様子を再現して見せ、悪龍となって恨みを晴らそうと思ったが、意外にも回向を受けて成仏できたこと述べる。

「平家物語」巻十「藤戸」をもとに作られた能です。「平家」では盛綱が土地の漁師を殺したことを軽く触れてあるだけですが、能ではその後日談として話をふくらませています。作者は世阿弥ではないと言われていています。前シテは漁師の母であるのに対して後シテは息子の亡霊と、前後で役が異なることが特徴で、同じように前後で親子の役を変えて演じる曲に「天鼓」があります。

前シテ(漁師ノ母) 山本 章弘
後シテ(漁師ノ霊) 山本 章弘
ワキ(佐々木盛綱) 福王 茂十郎
ワキツレ(盛綱ノ從者) 森本 幸治
ワキツレ(〃) 是川 正彦
アイ(盛綱ノ下人) 小笠原 匡

笛 杉 信太郎
小鼓 荒木 賀光
大鼓 山本 哲也

後見 波多野 晋
河村 栄重
地謡 山本 順之
松浦信一郎
山本 今村 一夫
林本 大
吉山 有
朝原 広基
山本 麗晃

午後5時過ぎ終了

公益財団法人 山本能楽堂 賛助会員募集のお知らせ

山本能楽堂は大阪市中央区徳井町(谷町4丁目)に、山本家先代 山本 博之が、昭和2年に建設しました。その後戦火に達し、一度焼失しましたが、昭和25年に再建し現在に至っております。

そしてこの度、更なる能楽の普及・発展をめざし、公益財団法人 山本能楽堂を発足致しました。それに伴い、さらに広く皆様方に能楽の楽しさに触れ魅力を感じて頂くため、平成19年度より賛助会員を募集させて頂く事になりました。

ご入会頂きますと「たにまち能(山本定期能)」のご招待、各種公演の御案内、山本能楽堂のご使用料金の割引等の特典を受けて頂く事ができます。お一人でも多くの方にご支援頂き、能楽の普及にお力添えを賜りますれば、何より有難く、御賛同賜ります様よろしくお願ひ申し上げます。

	個人会員 A	個人会員 B	法人会員
年会費1口	10,000円	30,000円	100,000円
ご招待(一口あたり)	たにまち能招待券2枚(通常11,000円)	たにまち能招待券6枚(通常33,000円)	たにまち能招待券などもしくは舞台使用料を会費分値引
その他の特典	●各種公演の御案内を無料送付 ●会員様だけのイベントに参加		

- 招待券はご本人様以外でもご利用いただけます。 ●ご入会頂いた方には、税制上の優遇があります。詳細は能楽堂までお問い合わせ下さい。
- 通常「たにまち能」は年間6回の公演で、1回につき2種類の能と狂言の構成になっております(1回は素謡会)1回券 5,500円
- 招待券は1月から12月までの公演でお使いただけます。
- ※素謡会とは…「能」の要素には謡(歌)と舞があります。お囃子や舞、動き、装束などを除いた謡の部分の聞いていただくもので、謡の美しさや妙味を楽しんでいただけます。

ご入会頂けます方は、下記お問い合わせ先までおたずね下さいませ。後日、(公財)山本能楽堂より書類をお送りさせていただきます。会員になられる前に、能楽堂の見学をご希望の方はご連絡下さい。

国登録有形文化財 山本能楽堂 改修事業募金のご協力をお願い

山本能楽堂は、文化庁の「重要建造物等公開活用事業」として、この度初めての耐震補強を中心とした改修事業を行わせて頂きます。「国の方から」である能楽堂を次世代に継承し、日本の伝統芸能を守るためにも、広く皆様方のご協力を御願ひ申し上げます。なお、1口1万円以上ご寄付頂いた方のお名前を山本能楽堂内に掲示させていただきます。(ご希望の方のみ)皆様方からのご支援をよろしく御願ひ申し上げます。



山本 麗晃

お申込方法等、詳しくは
下記(公財)山本能楽堂までお問い合わせください。
詳細をお送りさせていただきます。

■主催/公益財団法人 **山本能楽堂**
■後援/大阪府・大阪市・公益財団法人 関西・大阪21世紀協会
■助成/平成25年度 トップレベルの舞台芸術創造事業
山本能楽堂 / Tel. 06-6943-9454 Fax. 06-6942-5744
e-mail info@noh-theater.com
山本能楽堂のホームページ / http://www.noh-theater.com/



地下鉄谷町4丁目④番出口より、北に一筋目の角を左へ100m、南側(徒歩2分)

次回のたにまち能

平成25年12月1日(日)13時開演
於 山本能楽堂

- 能 **巻絹** 山本 麗晃
- 狂言 **瘦松** 小笠原 匡
- 能 **鶴白頭** 山本 博通